

各位

平成25年1月10日

KNT-CTホールディングス株式会社
総務部(広報) 担当: 仲
TEL: 03-6891-6839

旅行取扱状況の概観(平成24年11月分)

下記、月次取扱額は、平成24年における旧近畿日本ツーリスト(KNT)のものです。
KNTとKNT北海道、KNT九州、KNT東北、KNT中国四国、KNT商事、KNTアジアの合算額となります。
クラブツーリズム株式会社の取扱額は含まれておりません。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年を下回ったものの学生団体が好調に推移し、団体旅行合計で前年比102.0%と前年を上回った。企画旅行・個人旅行については、東アジア情勢の影響が大きく、前年を大幅に下回った。
この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比89.3%と前年を下回る結果となった。

国内旅行の取り扱い、一般団体・学生団体とも昨年の反動が大きく、団体旅行合計では前年比90.9%と前年を下回った。企画旅行については、取扱人数・取扱額とも前年を大幅に上回った。個人旅行も前年比107.8%と好調であった。

この結果、国内旅行総取扱額としては前年比100.7%となり、僅かながら前年を上回った。

外国人旅行は前年比120.7%となり、引き続き回復基調にあるが、未だ完全回復には至っていない。

以上の結果、11月の総取扱額は前年比97.4%となった。

1. 海外旅行

(1) 団体旅行

一般団体は、韓国・中国方面で多くの団体が中止・延期となった影響が大きく、前年比92.8%であった。
学生団体については修学旅行および修学旅行以外の団体増加により前年比128.8%と前年を大幅に上回った。
この結果、海外団体旅行としては前年比102.0%と前年を上回った。

(2) 企画旅行

ホリデイは、北米やミクロネシア、東南アジア方面は比較的好調であったものの、依然として東アジア情勢の影響が大きく、韓国・中国方面が前年を大幅に下回った結果、取扱額は前年比73.4%、取扱人数は前年比61.9%であった。

2. 国内旅行

(1) 団体旅行

一般団体は、昨年、多くの遠忌法要団体や大型イベントを取り扱った反動もあり、前年比85.1%であった。
学生団体についても、昨年、震災による移行団体を多く取り扱ったこともあり、前年比96.9%であった。
その結果、国内団体旅行として前年比90.9%と前年を下回る結果となった。

(2) 企画旅行

メイトは、取扱人数で前年比116.4%、取扱額は前年比114.2%と前年を大幅に上回った。方面別取扱人数の状況では、沖縄、東北、伊勢志摩、中国四国、TDR・東京商品などは前年を大きく上回ったが、北海道、九州方面は伸び悩んだ。

以上